

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公表番号】特表 2007-500545 (P2007-500545A)

【公表日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【年通号数】公開・登録公報 2007-002

【出願番号】特願 2006-521984 (P2006-521984)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一部が二相材料を含む栓子と、

前記栓子を前記内腔の選択された位置に移動するために前記栓子に着脱可能に結合された送出器具と、
を備える内腔閉塞装置。

【請求項 2】

前記栓子が先細部分及び拡張可能部分を含む請求項 1 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 3】

前記拡張可能部分が二相材料を含む請求項 2 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 4】

前記拡張可能部分が、前記内腔の内壁と接触する複数の構造部を含む請求項 2 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 5】

前記複数の構造部が二相材料を含む請求項 4 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 6】

前記栓子の少なくとも一部が生体吸収可能な材料を含む請求項 1 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 7】

前記二相材料が生体吸収可能である請求項 1 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 8】

前記二相材料が形状記憶材料である請求項 1 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 9】

複数の開口部を定める栓子と、

前記栓子を内腔の選択された位置に移動させるために前記栓子に着脱可能に結合された送出器具と、

前記開口部を通して移動される生体結合剤と、
を含む内腔閉塞装置。

【請求項 10】

前記結合剤が二相材料を含む請求項 9 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 1 1】

前記結合剤が生体吸収可能な材料を含む請求項 9 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 1 2】

前記二相材料が生体吸収可能である請求項 1 0 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 1 3】

前記結合剤が形状記憶材料である請求項 9 に記載の内腔閉塞装置。